

福祉のまち いの町
広報 第83号

社協だより



第7回
清水地区

ふるさとふれあいデー

令和7年3月29日（土）清水公民館にて「清水地区ふるさとふれあいデー」が開催されました。平成31年3月開催の第6回を最後にコロナの影響で中止をしていましたが、座談会を重ね地域の方から「新しくなった公民館で何かしたいね」「みんなで顔を見ながらゆっくり話がしたいね」という意見があがり6年ぶりに復活しました！

当日は子どもから高齢者まで多世代が交流し、また久しぶりに会う友人との話に花が咲き、楽しいひと時となりました。

座談会



昔懐かしい写真コーナー



昼食



タッチ〜！



事業報告 令和6年度

1 法人運営の基盤整備

- (1) 法人運営の基盤となる
正・副会長会、理事会、評議員会等の開催
① 正・副会長会 5回
② 理事会 3回
③ 評議員会 3回
④ 監査 2回
- (2) 法人運営の基盤となる自主財源の確保
社協会費
一般会費 1,299,860円
賛助会費 132,000円
法人会費 126,000円

2 地域福祉活動の推進

- (1) なんでも相談事業 2件
(2) 弁護士無料法律相談 3回
(3) 地域福祉活動計画の実施
(4) 県社協「ナツボラ体験事業」への協力
(5) 実習生の受入 14人
(6) 地域見守り活動の実施
(7) 給配食サービス実施「吾北地区」 1,430食

3 在宅福祉サービス事業の推進

- (1) 災害時要配慮者支援事業（見守り台帳の整備）
(2) まごころ郵便事業「本川地区」
(3) ひとり暮らし高齢者への「愛の一声運動」 対象者927人
(4) 介護用品の貸出・斡旋、福祉機器の貸出
(5) ふれあいサロン事業 7カ所

4 福祉教育の推進

- (1) 福祉教育推進校育成事業 12校
(2) ひまわりサービス事業「本川地区」
(3) 福祉教育の実践
本川中 長沢小 吾北中 吾北小 伊野小
伊野南小 川内小 追手前高校吾北分校

5 情報の提供、広報活動の推進

- (1) 社協だよりの発行 年4回全戸配布
(2) インスタグラムの開設 随時発信

6 ボランティア活動の推進

- (1) 生活支援ボランティア講座の開催
「あつたかまなび家」 4回
(2) ボランティアグループの支援
(3) ボランティア保険への加入促進 707人
(4) 使用済み切手の収集
(5) フードバンクへの協力
(6) 災害ボランティアセンターの体制整備

7 大会・研修会の実施

- (1) 第20回いの町社会福祉大会
(2) インターネットを介したオンライン研修
(本川プラチナ交流センター)

8 各種福祉団体等の育成と支援

- (1) いの町民生委員児童委員協議会連合会
(2) いの町老人クラブ連合会
(3) いの町身体障害者連盟
(4) 助けあいたい伊野 結
(5) 伊野イレクターズ
(6) 日本赤十字社中央西地区いの町分区分
(7) 日本赤十字社中央西地区
(8) いの町共同募金委員会

9 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付 17件

10 指定管理事業受託

いの町生活支援ハウス

いの町長沢254の20
令和3年度から令和7年度の5年間

11 介護保険事業（指定管理事業）

通所介護事業

デイサービスセンター「朝霧荘」

開所日数 255日
延べ利用人数 2,037人
1日平均利用人数 7.9人

12 生活支援ハウスの経営（指定管理事業）

年度末入居者数（定員10人） 9人

13 生きがい活動支援通所事業（指定管理事業）

- (1) 通所サービス 64回・延べ利用人数312人
(2) 訪問給食サービス 6,028食

14 災害見舞金事業

支給件数5件

15 収益事業

- (1) 郵便切手等販売及び印紙売りさばき業務 利用人数109人
(2) ゆうパック取扱所 取り扱い個数1個

	伊野	吾北
集 い	3,618人	757人
送 迎	791人	471人
移動手段の確保	—	63件
働く支援	1,096人	29人
訪 問	298件	376件
配 食	—	92件
生活支援	609件	247件
相 談	182件	28件
つ な ぎ	64件	16件
交 わ る	—	255人
学 ぶ	22人	121人
地域支援	32件	30件

20 あったかふれあいセンター事業

- (1) 包括的な支援体制の構築と支援の実施
相談件数 53件
- (2) 農福連携活動
活動件数 369件
- (3) 「地域活動支援センターほっと」の運営
ボランティアポイント制度の拡充
- (4) ボランティアポイント制度の拡充

19 重層的支援体制整備事業

年度末利用者数 36人

18 福祉サービス利用援助事業

延べ利用人数 194人

17 過疎地有償運送事業

延べ利用人数 1,491人

16 屋内ゲートボール場すばく吾北管理・運営



福祉教育の実践（高齢者疑似体験）

- (1) 相談支援センターひだまり
支援実人数
- (2) 支援方法

23 指定特定相談支援事業

年度末受任件数 4件

22 法人成年後見事業

- (1) 相談件数 80件
- (2) プラン作成件数 19件
- (3) 支援調整会議への参加状況 11回

21 生活困窮者自立相談支援事業



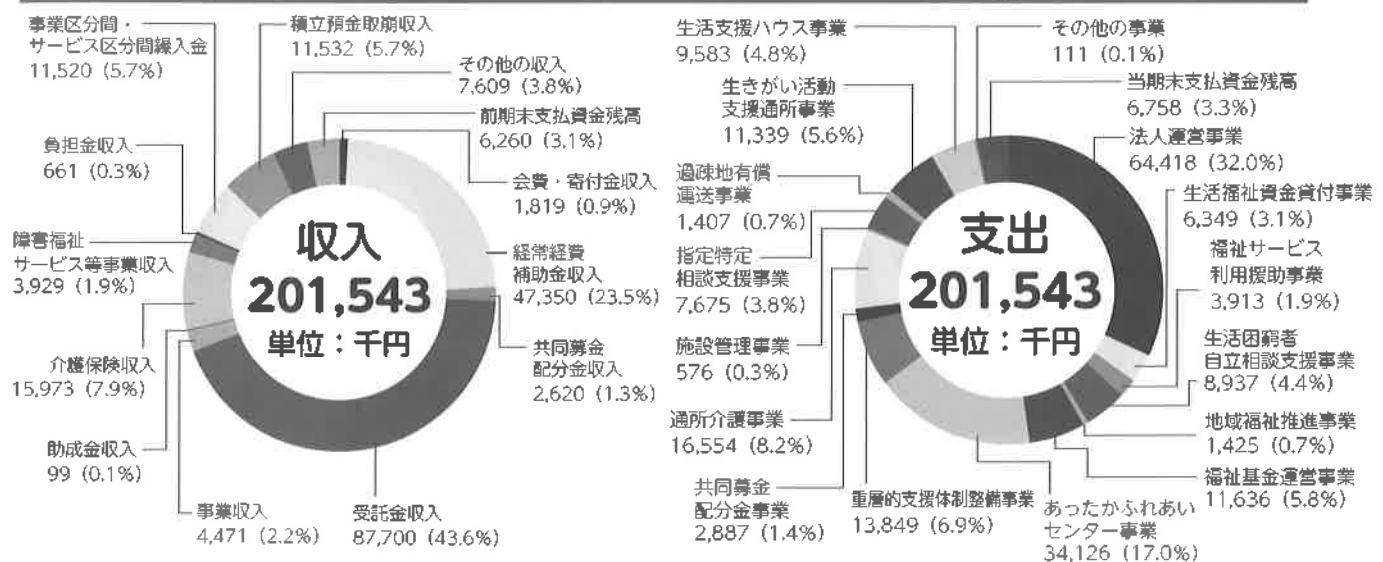
第20回 いの町社会福祉大会



赤い羽根共同募金運動（街頭募金）

訪 問 400件 63人
来所相談 220件
同行 80件
電話相談 550件
個別支援 53件
関係機関 265件

令和6年度 社会福祉事業 決算



令和7年度 いの町社会福祉協議会 事業計画

基本方針

いの町社会福祉協議会は、いの町における社会福祉事業の健全な発展及び社会福祉活動の活性化による地域福祉の推進を、町をはじめ地域の社会福祉法人等と連携した取り組みを進めます。本協議会は公益性の高い社会・地域福祉事業を展開する非営利法人として、また、官民の中間的組織として地域の諸課題の解決を模索しながら、様々な支援を必要とする方に、無料または低額な料金で福祉サービスを提供するよう努めてまいります。

人口減少と少子高齢化が進むいの町において、地域住民の抱える課題が複雑化・複合化しており、それらの課題に対応していくためには、これまでの制度・分野ごとの縦割りで整備されてきた福祉サービス・福祉制度だけではなく、様々な分野の専門職や関係機関、地域活動団体等が連携・協働して対応していくことが求められています。

令和6年度より本格的にスタートした「重層的支援体制整備事業」では、いの町からの委託を受け、地域住民からのあらゆる相談に対して分野を問わない「相談支援」の実施、生きづらさを抱えた方に対する農福・紙福連携の取り組みを通じた「参加支援」、いの町地域活動支援センターほととの運営やボランティアポイント制度を活用した「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施していきます。

また、近年、全国各地で大規模災害が発生しており、いの町においても災害発生時

の災害ボランティアセンターの体制整備の取り組みや、地域・学校に対しての福祉教育など、社会福祉協議会に求められる役割は今後ますます重要となります。地域福祉を推進する中核的な組織であることから、令和3年度に策定した「第3期いの町地域福祉計画・地域福祉活動計画」（令和4年度・令和8年度の5年間）の基本理念である「一人暮らしになっても一人ぼっちを感じずいの町にずっと住みたい 住んでよかったと思える町づくり」を念頭に置き、社会福祉協議会が果たすべき役割を職員一人ひとりが考え、地域住民や地域の福祉関係団体とのつながりを意識し、地域に寄り添った支援を目指します。

重点目標

人とのつながりを感じられ、笑顔あふれる地域となるよう居場所づくり・仕組みづくり・地域づくりに取り組みます。

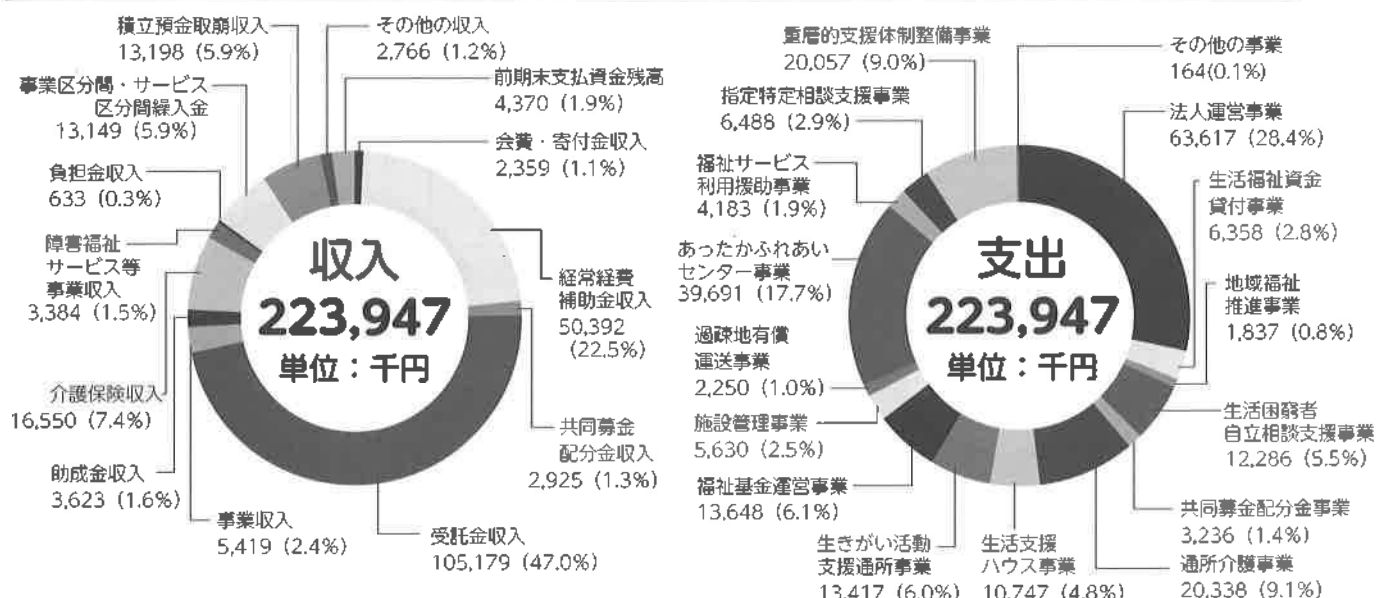
職員行動指針／目指す職員像

一人ひとりの想いに寄り添った支援を常に心がけ、地域住民と頼り合うことのできる社協職員を目指します。

重点事業

- 1 地域とのつながりやネットワークの強化
- 2 相談体制の充実
- 3 福祉教育の推進
- 4 人材確保と人材育成の強化

令和7年度 社会福祉事業 予算



いの町社会福祉協議会は、農福連携に取り組んでいます

農福連携とは、障がい者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参加を実現していく取組です。

【第2回いの町農福連携座談会】

令和7年2月9日（日）すこやかセンター伊野において、第2回いの町農福連携座談会を開催しました。

当日は、地域の住民や行政・福祉関係者等が集まる中、群馬県で障がい者の支援を行う障害福祉サービス事業所菜の花の施設長小淵久徳氏から「農福連携の可能性」について講演を頂き、農協や農家との連携について詳しく知ることができました。

その後、いの町で農福連携に取り組んでいる農家と就労体験者や支援者から、受入側と当事者の気持ちの変化や感想をお話しいただきました。また、農福連携コーディネーターからは、いの町での取り組みなど事例発表を行いました。



小淵久徳氏



いの町社会福祉協議会 福祉教育の取り組み

いの町社会福祉協議会は、未来を担う方々への福祉教育を進めていきます。

これからの社会を担う若い世代が、身の回りのあらゆる課題に目を向け、自ら考える力を身につけてもらうことを目指しています。

【本川中学校】

5月19日（月）本川中学校にて3年生9名を対象に高齢者疑似体験、6月11日（水）12日（木）はデイサービスセンター「朝霧荘」で福祉体験学習を行いました。

生徒の皆さんは、事前に学校の授業で高齢者や障がい者について学び、体験における目標を設定し、それぞれの学習に臨みました。

体験後には「利用者の皆さんと楽しく過ごせました」「利用者の方一人ひとりで対応が違うということが分かりました」や、施設については「職員の方は利用者をよく見ているなと思いました」「事故や怪我、衛生面に注意をしているなと思いました」などの感想がありました。



福祉体験学習(朝霧荘)



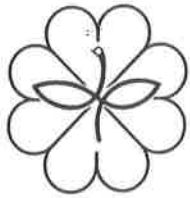
高齢者疑似体験(小銭の出し入れ)



白杖・アイマスク体験



車いす体験



令和7年度 民生委員・児童委員の日

活動強化週間の取り組み

毎年5月12日～5月18日 の1週間 ※地域の状況により、左記期間外で活動することもあります。

住民や関係機関・団体の皆さまに民生委員・児童委員の存在や活動を知ってもらうために、今年も様々な取り組みを行いました。



伊野地区

量販店でPRグッズを配布



吾北地区

グリーンパークほどの 花壇整備
(追手前高校吾北分校生、関係機関と共に)



本川地区

街頭指導、清掃活動
(関係機関と共に)

ナツボラ (夏のボランティア体験キャンペーン) 2025 7/20 (日) ～8/31 (日)

「ナツボラ」とは、若者のボランティア活動への参加拡大と、多様なボランティア活動を通して、ボランティアに関心のある人の参加拡大を目指すキャンペーンです。高知県内の団体、福祉施設、事業所、NPO、社会福祉協議会において様々なボランティア活動が展開されます。この夏、ボランティアに参加してみませんか。詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

高知県社会福祉協議会 高知県ボランティア・NPOセンター
☎088(850)9100



昨年度の様子



4月より新しい仲間が加わりました
よろしくお願いします

- 左：筒井 雅幸
(吾北あったかふれあいセンターこころ)
- 中：辻 夏美
(本川支所)
- 右：田村 恵理
(いの町あったかふれあいセンター)

職員紹介

令和6年度、町民の皆さまにご協力いただきました
ご寄付は、
2,065,790円となっております。
ありがとうございました。
日本赤十字高知県支部いの町分区分



日本赤十字社の活動に、町民の皆さまの温かいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。
日本赤十字社が行う人道支援活動は、皆さまからのご寄付(活動資金)によって支えられています。ご寄付が、「いざ」といふときの迅速で最適な支援や、普段からの備えを可能にします。
これからも日本赤十字社の活動を支えていただきますようご支援をお願い申し上げます。



日本赤十字社

日本赤十字社活動資金へのご協力
ありがとうございました

ヤマガラのがっちゃんクイズ みんなあ福祉について考えてみよう！ (クロスワード問題)



正解は次のページの下にあります。

【たてのヒント】

1. 障がいや生きづらさを抱えた方が、農業で活躍することを通じて自信や生きがいを持って社会参加する取り組み。【〇〇〇く連携】
2. 吾北清水地区で開催している地域の集い。
3. 自発的に人や社会に貢献する活動のこと。

【よこのヒント】

1. 賞味期限等を理由に市場に流通できなくなった廃棄する予定の食品の寄付を受け、困っている人に配給する活動。
2. 障がい者や高齢者などのおかれている状況や立場を理解する教育のこと。

※今回は難しいで～みんな分かるだろうか？ ワードはすべて、今月号の社協だよりの中にあるきねり

使用済み切手の寄付のご紹介

皆さまのまごころに対し厚くお礼申し上げます

谷脇茂 氏原富士子 谷岡憲一 岡本住子
カラオケ堂 睦会 (有)森田ビニール (有)藤本組
(有)大業工務店 ワーカーズコープはちきんず
天王子ども会育成会 天王友輪会 本川中学校
伊野幼稚園 いの町役場 (総務課・管財契約課)
いの町教育委員会
伊野地区民生委員児童委員協議会
吾北地区民生委員児童委員協議会
本川地区民生委員児童委員協議会
(順不同・敬称略)

(令和7年3月1日～令和7年5月31日)

フードバンク(食料品)へご寄付いただきありがとうございました

多数の匿名の皆さまにご寄付いただきました。
また、社協のフードバンクボックスにも多くの
協力をいただいております。
厚くお礼申し上げます。



(令和7年3月1日～令和7年5月31日)

なんでも相談『あのね』のご案内

社協職員があらゆる相談に応じます

「あのね」と、社協職員にご相談ください。
お金のこと、生活のこと、ご家族のこと、どこに相談すればいいかわからないなど、なんでもお気軽にご相談ください。
相談の秘密は固く守ります。

あのねー、母が病気やけど私の兄弟は関わってくれんがやき。
私一人で世話しよるき疲れてきた。

あのねー、頼んでもいない商品が
代金引き換えて届くがやけど
どーいたらえいろー。



日時 平日の午前9時～午後5時
場所 いの町社会福祉協議会

本 所 ☎ 088(892)0515
吾北支所 ☎ 088(867)2820
本川支所 ☎ 088(869)2071



朝霧荘の活動を紹介します

本川地区の朝霧荘では、以下の3つの事業を行っており、利用者が自分らしく日常生活を送ることができるように、様々なサービスを提供しています。

生活支援ハウス 諸事情により自宅での生活が困難な方に対し、居住スペースを提供しています。いの町在住の高齢者（概ね60歳以上）が対象です。
入居には、いの町の承認が必要です。

通所介護事業 介護認定を受けた方が、住み慣れた場所でできる限り自立した生活ができるように、また、ご家族の負担が少しでも軽くなるように支援を行っています。
(開所日：毎週月～金)
※祝日、年末年始は除く

生きがい活動支援通所事業 (通称：生きがいデイサービス)
(開所日：毎週火、金) 要介護や要支援にならないことを目指し、地域社会との交流を図り自立を促します。本川地区にお住まいの方が対象です。
※祝日、年末年始は除く

防災訓練 (協力：仁淀消防組合香北分署)



足こぎペダルで運動



利用者同士で何をするか話し合ったり
地域の協力をいただきながら、様々な
活動をし元気に過ごしています。



畑づくり

(3月下旬)



(4月中旬)



(5月上旬)

本川じゃがいもです。順調に育っています。

【お問い合わせ先】

〒781-2601 いの町長沢254番地20 電話：088 (869) 2929 FAX：088 (869) 2038